

油彩画の地塗り材

クイックベース

木枠に張った状態で市販されているキャンバスは、すでに白い塗料による下地が施されています。改めて地塗り材を塗る必要がありません。しかし、キャンバスの目をなくしたいとき、色付きの下地にしたいとき、キャンバスを自作するとき、木製パネルなどキャンバス以外のものに描くときなどは、地塗り材を使う必要があります。

油彩画の地塗り材としては、缶入りのクイックベースが適しています。油性キャンバスに塗られている塗料と基本的に同じもので、やわらかい刷毛で塗ることが出来ます。油彩画のホワイトに流動性を持たせたもので、アルキド樹脂を含んでいるため、普通の油絵具よりも乾燥が速いのが特長です。ペトリールで薄めて使うことも可能です。刷毛などを使得って薄く1〜2回塗ります。厚くしたいときはさらに数回に分けて塗り重ねます。指で触って色がつかなければ描くことができますが、1〜2週間以上の乾燥時間を置くのが理想的です。

また、クイックベースに用いられている顔料のチタン白には強い隠ぺい力があるため、古キャンバスを更正させる場合にも効果的です。古い油彩画を塗りつぶすときは、表面にサンドペーパーをかけ、クイックベースの固着を良くしてから塗っていきます。

シルバーホワイトと ファンデーションホワイト

表面に筆跡や凹凸のあるテクスチャーをつくりたいとき

は、ファンデーションホワイトなど下地用の絵具があります。油絵具のホワイトを使うこともできますが、その場合は乾燥が速く、塗膜が丈夫なクイックドライングホワイトが便利です。油絵具のシルバーホワイトも地塗り用として一般的に使われていますが、実はこれには多少難があります。

普通、油絵具の展色材(糊材)には乾燥が速く、より堅牢な塗膜をつくるリンシードオイルが使われますが、ホワイト類は作品となった後も白さを保たせるため、黄変の少ないポピールオイルが使われています。シルバーホワイトの顔料である鉛白は安定性に優れているため堅牢な下地をつくることができますが、絵具中に含まれているポピールオイルが堅牢性と乾燥速度でリンシードオイルに劣るため、下地用としては不向きなのです。

ファンデーションホワイトをはじめとする地塗りを目的とした絵具は、顔料に鉛白とチタン白が使われ、展色材に全てリンシードオイルが使われています。後日の黄ばみは多少目立ちますが、上に他の絵具が塗られることを前提としているので、乾燥性や安定性が優先されています。

チューブ入りのファンデーション絵具には、ホワイトの他、アンバー(褐色)、グレイ(灰色)、グリニッシュ(緑色)と色の付いたものがあります。一般には風景画には褐色の下地、人物画には緑系の下地が効果的に使われます。



ファンデーション ホワイト

※参考文献:「絵具の科学」ホルベイン工業技術部編(中央公論美術出版)など

ホルベイン絵具に関する
ご質問・ご相談は…

ホルベイン絵具 技術サービスセンター TEL.0729(85)1223
〒579-8063 東大阪市横小路町4-10-52
電話受付時間/9:00~16:00 月~金曜日(祝日を除く)

ホルベイン工業株式会社 東京都豊島区東池袋2-18-4 TEL.03(3983)9251 大阪府東大阪市上小阪1-3-20 TEL.06(6723)1554

holbein

ホルベイン絵具

www.holbein-works.co.jp